科目名 特別講義( Special Lecture )											
学 年	学系	斗(コース)	i	单位	立数	必修 / 道	選択 打	<b>受業形態</b>	開講時	<b>事期</b> 約	時間数
第5学年	第5学年 経営情報学科		学师	多	1 単位	必修		講義	通年	E 4	5 時間
担当教員 【非常勤】学外											
学習到達目標											
企業や大学などで活躍されている経営管理者や研究者・技術者(外国人を含む)を特別講師として招聘し、最近の先端分野における話題性の高いテーマや最新の研究動向を主な内容とする科目である。最先端の経営管理論をはじめ、会計制度とその運用、企業の経営管理技術、技術経営、CG技術、SE技術者の教育などを理解することが到達目標である。  【経営管理に関する企業の動向や最新の研究について説明できること。 ②システムや情報技術に関する企業の動向や最新の研究について説明できること。 ③社会人としての心構えと技術者の役割について説明できること。											
到達目標 (評価項目)		れた到達レベ <i>)</i> 目安			好な到達し 目安			D到達レベル 目安		未到達レ/ 目安	l
<b>到達目標</b> ①	の動	管理に関する: 向や最新の研 て説明できるこ	究に (	の動	管理に関す 向や最新の て3/4程。 こと。	の研究に	の動向や	!に関する쇼 け最新の研3 ✓5程度説師	宅に の重	常管理に関う 動向や最新いて説明でき	の研究に
到達目標②	関する	テムや情報技行 る企業の動向: 研究について ること。	や最 説明	関す 新の	テムや情報 る企業の重 研究につい 説明できる	が向や最 NT3/4	関する企 新の研究	や情報技術 業の動向やについて3 について3	を最 関す グ5 新の	テムや情幸 「る企業の」 O研究についない。	動向や最
社会人としての心構 技術者の役割につし <b>到達目標</b> ③		いて!				社会人としての心構えと 技術者の役割について3 大5程度説明できること。 社会人としての心構えと 技術者の役割について 説明できない。					
学習·教育到	達目標	(F)	34		J	ABEE基準	1(2)		(	(a)	
				達	成度	評価(9	6)	1			Т
評 指標と評価割合	価方法	中間試験	期末 学年 試馬	末	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合						100					100
知識の基本的な 【知識・記憶、理		1				0					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】						0					
汎用的技能											
態度・志向性(人間力) 【主体性、責任感、倫理観、未 来志向、キャリアデザイン】						0					
総合的な学習紹 創造的思考力 【 】	経験と										

	関連科目,教科書および補助教材
関連科目	卒業研究
教科書	資料配布
補助教材等	

## 学習上の留意点

特別講義講師の都合により、講義のタイトルや順序を変更して行う場合がある。

## 担 当 教 員 か ら の メッ セ 一 ジ

欠席した場合にはレポートを提出できないので注意すること。

授 業 の 明 細							
	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)				
1	第1回	日本の会計制度とその国際化	講義の内容をまとめる とともに、関連事項を 調査してレポートを作 成する。				
2							
3	第2回	会計研究とその最新動向	講義の内容をまとめる とともに、関連事項を 調査してレポートを作 成する。				
4							
5	第3回	コンピュータグラフィックス技術	講義の内容をまとめる とともに、関連事項を 調査してレポートを作 成する。				
6							
7	第4回	社長の経営管理と社員教育の実態	講義の内容をまとめる とともに、関連事項を 調査してレポートを作 成する。				
8							
9	第5回	SE技術者と企業環境	講義の内容をまとめる とともに、関連事項を 調査してレポートを作 成する。				
10							
11	第6回	企業の技術と経営との関連	講義の内容をまとめる とともに、関連事項を 調査してレポートを作 成する。				
12							
13	第7回	社会人の選択とその成功	講義の内容をまとめる とともに、関連事項を 調査してレポートを作 成する。				
14							
15	第8回	授業改善アンケートの実施					
	総学	45 時間					
		30 時間					
		15 時間					